

## 平成 26 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	専修大学大学院文学研究科日本語 日本文学専攻博士後期課程	職名	大学院生	助成金額	400000 円
氏名	徳江 剛 印	メール アドレス	gotokue@gmail.com		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
小説作品を用いた日本語教育についての一考察					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>JSAA2015</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加費 25000 円</li> <li>・渡航費用のうち、大学の助成金から漏れた分 60000 円</li> <li>・ポスター作製費 1000 円</li> </ul> <p>資料購入費用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書籍 20074 円</li> </ul> <p>合計 106074 円</p> <p>（※上記以外にも海外の大学でのアンケート調査のために予算を割り当てていたが、先方の受け入れ条件を満たすことができず実現しなかった）</p> <p>6 月 30 日から 7 月 3 日にかけてメルボルンのラ・トロープ大学で開かれた JSAA2015 にて、「村上春樹の小説作品を利用した日本語教育についての一考察」と題してポスター発表を行った。</p> <p>日本語教育の現場で扱われる教材は、現在に至るまでアカデミックジャパニーズ偏重の傾向が続いているが、ポップカルチャーに関心を持つ学習者からのニーズに応えていく必要もある。しかし、アニメやマンガ等で用いられる言語表現は現実の言語表現と乖離しているという問題がある。そこで、教材としての役割を果たしつつ、学習者の興味をひくことのできる教材として村上春樹の小説作品が利用できないかと考えた。村上の小説は、一般的な言葉遣いで書かれた現代の小説であり、また作家に知名度もあることから、教材としての要素を備えている。</p> <p>今回の発表では、テキスト型データを統計的に分析するためのソフトである KHcoder を利用し、小説内の特徴語を抽出することで小説の「主題」を明確化する方法を提案した。これにより、教師の下準備が容易になる他、学習者が読みたいものを読むために教師が手を貸す、という授業が可能になる。</p> <p>この理論はまだ発展途上であるが、他の研究者との交流を通して、実際の教育現場でも役立つ研究であると実感できた。また一方では、日本の戯曲を用いた日本語教育を実践しているグループから、授業の運営に際しての問題点についても指摘された。今後は、村上春樹の小説作品によって可能な指導内容を明確化し、どのようなニーズに応える事ができるか見極めていきたい。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		
徳江剛	村上春樹の小説作品を利用した日本語教育についての一考察 (ポスター発表)	JSAA2015 (オーストラリア日本研究学会)	平成 27 年 7 月 1 日		